

令和4年度第1回 墨田区障害者施策推進協議会 議事要旨

開催方法：書面開催

議題

- (1) 「第5期墨田区障害者行動計画」の令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画について
- (2) 情報共有・意見交換等

資料

- ・資料1 墨田区障害者施策推進協議会について
- ・資料2 「第5期墨田区障害者行動計画」令和3年度実績報告、令和4年度事業計画」(概要版)
- ・資料3 「第5期墨田区障害者行動計画」令和3年度実績報告、令和4年度事業計画

委員名簿

(敬称略)

氏名	所属
庄司 道子	墨田区障害者団体連合会
三宅 裕	墨田区障害者団体連合会
浅岡 ミサ子	墨田区障害者団体連合会
荘司 康男	墨田区障害者団体連合会
菊池 昌子	墨田区障害者団体連合会
三浦 八重子	墨田区障害者団体連合会
小久保 登美子	墨田区知的障害者相談員
小久保 明	墨田区身体障害者相談員
○鎌形 由美子	墨田区社会福祉協議会
田村 正一	墨田区民生委員・児童委員協議会
塩塚 靖基	障害福祉サービス事業者
とも 宣子	墨田区議会議員
はら つとむ	墨田区議会議員
しもむら 緑	墨田区議会議員
井上 ノエミ	墨田区議会議員

洪田 ちしゅう	墨田区議会議員
かんだ すなお	墨田区議会議員
朝日 滋也	東京都立墨田特別支援学校長
松井 隆	特別支援学級設置中学校代表（本所中学校長）
原 和也	墨田公共職業安定所 職業相談部長
西塚 至	墨田区保健所長

○会長

委員からの御意見及び御質問等

御意見（１）

資料３ P1 イー６「保育士及び幼稚園教員等に対する研修の実施」について、障害児を受け入れている私立園に係る保育士への研修については、どうされているのか。

事務局回答（１）

区主催の「保育者の資質向上のための合同研修」の一つとして、障害児研修を実施しており、私立園の保育士も対象としています。

御意見（２）

資料３ P2 イー８「就学相談説明会の実施」について、令和３年度は中止とあったが、今年度は中止しないためのリモート開催について検討・準備されているのか。

事務局回答（２）

令和４年度については４月１２日に実施しました。なお、当日配付した資料については、可能な範囲でホームページに掲載しています。

御意見（３）

資料３ P2 ウー１３「個別指導計画に基づく教育の実施」について、モデル事業として４校で導入したアプリケーションについて、結果についての報告や予算も含めた全校への導入など、今後の対応について伺いたい。

事務局回答（３）

令和５年度も引き続き、モデル事業として４校で実施し、今後の課題等を踏まえて令和６年度の導入について検討していきます。

御意見（４）

資料３ P2 ウー１４「交流教育・障害児理解教育の実施」について、直接交流が実施されなかった理由について、コロナによるとすれば、今年度以降の実施内容について検討すべきだと思うが、いかがか。

事務局回答（４）

感染症対策を講じたうえで実施できるよう、内容について検討していきます。

御意見（５）

資料３ P6 イー４３「官公需によるリサイクル業務委託」について、立川ストックヤードの建物の老朽化や補修について、どのように対応をされているのか。

事務局回答（５）

平成１１年の施設開設以降、作業部分を施設内に整備し、その後の改修として空調設備の増設・更新、照明設備の増設・更新等を行っています。

また、厚生施設の整備としては休憩室の空調設置・更新等を行っています。

御意見（６）

資料３ P12 イー１１１「歩行者・自転車通行空間再整備事業」について、新型コロナウイルス感染症の影響とあるが、先送りとなった具体的な理由について伺いたい。

事務局回答（６）

コロナ禍におけるBCP、事業の優先順位付けをする中で、当事業については、必要性はあるものの、先送りとしました。

御意見（７）

資料３ P13 ウー１１９「災害時要配慮者サポート隊の結成支援」について、避難行動要支援者名簿と同様に、既に結成された「サポート隊」についても毎年の更新が必要だと思うが、その点について伺いたい。

事務局回答（７）

サポート隊は町会（自治会）単位で結成されており、隊員等の情報は町会（自治会）の内部で更新されているものと考えています。今後は、サポート隊に対しアンケートを実施するなど活動状況等の把握について検討していきます。

御意見（８）

資料３ P13 ウー１２２「ヘルプカードの配布」について、本区では、新たに「ヘルプシール」を作成したと思うが、その普及・啓発・配布についてはどうされているのか。

事務局回答（８）

令和２年度に障害者団体連合会からの意見を聴取し、作成した２９種類のヘルプシールを障害者福祉課窓口にて希望者に配布をしています。区ホームページに案内を掲載するほか区報・SNS等で周知しています。

御意見（９）

第５期墨田区障害者行動計画は、区民の多方面のニーズに応じ、実績も着実にみられることが分かりました。

事務局回答（９）

貴重なご意見ありがとうございます。次期計画に向けた改定においても様々なニーズに対応した実りある計画となるよう協議を進めていきます。

御意見（１０）

コロナの影響で中止・見送りの場合は事業評価が「その他」となるようです。他は全てAの評価となっています。参考までに事業評価の基準、何をもちいてAとし、B、Cの程度はどのような状況であるのかを教えてくださいたいです。説明を見落とししているのかもしれませんが。事業番号の★の意味も合わせて教えてください。

事務局回答（１０）

資料２ １ページ２事業評価に評価基準を記載をしています。

A：計画通り進んでいる場合、B：計画に遅れが生じている場合、その他：計画の見直し等の必要が生じている場合等 として評価しています。

★については重点事業を示しています。

次年度以降、評価等を含め分かりやすい資料作りに努めます。

御意見（１１）

資料３ P.1 ア早期発見と早期療育等—３ 集団療育の期間が令和３年度は１年間であったが、令和４年度からは半年に変更など、個々の状況に応じて対応を変えろという取り扱いに変更になった。その点について利用者から混乱の声は聞かれなかったか。今まで利用されていた方が戸惑いを感じないように丁寧に進めていただきたいと考えるが、この間の周知方法や、変更した狙い、今後の展望はどう描いているのか。

事務局回答（１１）

変更に関しては新年度前に周知し、また担当職員からも半年で終了する児童については課題達成度や保護者理解、保育園、他療育施設利用等を考慮し、個々に説明を行うことで大きな混乱はありませんでした。利用児を循環させることで、多くの児童が利用できるようにする狙いがあります。今後も療育の必要な児童にサービスがいきわたるように、みつばち園、にじの子が連携し、必要量を確保していきます。

御意見（１２）

資料３ P.1 イ障害児の幼児教育・保育の充実について—４ 障害児の保育園児受け入れ支援を行なっているが、実績や現場の声はどうなっているのか。制度として整えていても受け入れが進んでいない場合、原因を確かめるための実態把握と、区の対

応も改善していくべきではないか。

事務局回答（１２）

【障害児の受け入れ実績】

R3 年度 公立保育園 205 名（重度 10 名）

私立保育園 185 名（重度 1 名）

R4 年度 公立保育園 170 名（重度 11 名）

（9 月現在）私立保育園 193 名（重度 2 名）

【障害児の受け入れに係る対応】

障害児対応についての現場負担も大きいと聞いています。区としては、現場の負担を軽減するため、心理相談員の巡回及び相談を公立・私立園で計画的に実施し、現場の困り感や悩み等に適宜アドバイスを行えるような体制を構築しています。引き続き、これらの事業を通して各園の支援を行っていきます。

御意見（１３）

資料 3 P2 ウ 就学に向けて、区立に入れるか、都立の特別支援学校に入れるか、都内だったら全体の都立の特別支援学校の情報を知りたい、その上で決めていきたいという保護者のニーズも聞かれる。区は近隣区までしか把握していないと仄聞している。都立も含めた特別支援学校全体の把握も、選択肢を広げる意味で行うべきではないか。その点についてはどう考えているか。

事務局回答（１３）

都立特別支援学校のうち、知的障害及び肢体不自由については、通学区域が決まっているため、該当校を案内しています。一方、視覚障害及び聴覚障害並びに病弱特別支援学校については、東京都全域が通学区域となりますが、通学の利便性を考慮し、近隣の特別支援学校の案内をしています。なお、都立支援学校からは学校案内や学校公開の予定等が送付されているので、保護者からの希望により案内をしています。

御意見（１４）

お子さんの発達に不安があるけれども周りに打ち明けられず悩まれている保護者の声も近年多く聞かれるようになった。新保健センターも開設されることから、気軽に相談できる相談体制の強化も行っていただきたい。特に、結婚を機に墨田区に転入してきたケースも増えており、制度を知らずに悩みを抱えている方も多数いると予想される。区からの情報周知や、同じような悩みを抱えている保護者同士でコミュニケーションが図れるような機会を提供するなど新たな取り組みもできないか、区の対応を伺いたい。

事務局回答（１４）

転入者に対しては、健診対象者であればハガキを送付し、その他の場合はいきいき

子育てガイドブックをお渡ししています。

発達に不安がある保護者には、健診時はもちろん、普段から随時ご相談をお受けしています。

専門の心理士による相談では個別でお話を伺い、必要時、区内施設みつばち園などをご紹介させていただいております。

今後両センターが一か所になることで、より一層子育て支援部門とも連携を図り、切れ目ない支援となるよう体制強化に努めてまいります。

御意見（１５）

コロナの影響で多くの教室やイベントが実施できず、いた仕方がないとはいえ残念です。

また本協議会も書面会議となり、コロナ禍の先行きがみえない中、オンライン会議も検討した方がいいのではと思います。

事務局回答（１５）

委員の皆さまのオンライン会議環境が確認でき次第、開催方法について検討していきます。

御意見（１６）

前にも申しましたが、評価「A」ばかりでは言いようが無いです

事務局回答（１６）

本実績報告における評価欄は、事業を予定どおりに実施したものをA、できなかったものをBとしたものであり、数値の高低を評価したものではありません。

以 上